

1 この科目の構成について (改行は Alt + Enter)

教科	芸術科	科目	デザイン	単位	3単位	単位
対象コース	美術コース	コース	対象クラス	2年	6組	
使用教科書	高校生の美術2 (日本文教出版)					
使用副教材						

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について (改行は Alt + Enter)

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

- ①色彩計画の学習
- ②画面構成の学習
- ③情報を調査、収集して整理する学習。情報の視覚的効果を高めて伝達する学習
- ④デザインの使用目的を明確に意識し、コンセプトを持った表現

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

「コンクール作品」(5月連休課題・夏季休業課題)

「ポスターデザイン」目的を持ったデザイン。テーマ「HOME」。身近なテーマであることから、新しい視点でHOMEを表現する。
「青森県南地区観光ポスター制作」青森県南地区と岩手県北の観光名所、祭り、名産物等を取材し、取材した資料を基にポスターをデザインする課題。取材する力、情報の整理能力、視覚伝達能力を養う。

■後期からデザイン系と絵画系(油彩、彫刻、日本画等)に分かれ、より専門性の高い課題を実習する

「平面構成」情報を分かりやすく伝えるための効果や対比を習得し、構成力、色彩を学習する。大学受験を視野に精度の高い作品を目指す。

「CIデザイン」(選択課題)架空の企業、団体を想定し、コーポレート・アイデンティティを考える。

そのCIコンセプトを基に、コーポレートカラー、ロゴデザイン、シンボルマークをデザインする。

デザインしたロゴやマークを利用した商品、パッケージ、包装紙などに展開する例も提示させる

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1)学校

主に授業時間内で実習し、放課後等、課外時間も有効に使って学習する

(2)家庭

夏期休業と冬期休業に出題されるコンクールに向けた課題の制作

3 この科目の評価方法について (改行は Alt + Enter)

評価方法：何をを使って評価するのか

完成した作品によって評価する。

技術的、創造的に優れた作品を評価するほか、完成するまでの過程、取り組みの姿勢を見る。各自の力量に合わせた努力度、熱心さ等を加味し、平常点として評価に加える。

評価における定期考査の割合

0 %

4 この科目の評価の観点について (改行は Alt + Enter)

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1)関心・意欲・態度

課題に取り組む意欲、態度

(2)思考・判断

課題を理解し、目的を持って思考する力、アイデア





(3)技能・表現





構成力、色彩感覚、表現力、描写力

(4)知識・理解

色彩論、図学製図を応用した制作、CG技術の向上

5 この科目の学習計画について (改行は Alt + Enter)

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
1	5	<p>■「ポスターの制作」</p>  	<p>■「コンクール出品ポスターの制作」 (5月連休課題・夏期休業課題) 各コンクールに向けたポスターを制作する。 画材、用紙サイズは選択したコンクールの要綱に沿う。 ◇観点 目的を効果的に伝達するデザインを学習する。</p>	●	●	●	●	
1	5	<p>■「県南観光ポスター」</p>  	<p>■「県南地区観光ポスター」(23時間) 課題：テーマは県南地区の観光ポスター。県南地区と種市、久慈等岩手県北の観光名所、祭り、名産物、話題等を紹介し、観光客を引きつけるポスターをデザインする。優秀作品は、八戸駅ユートリー連絡通路に展示される。 ◇観点 1) 内容がしっかりと伝達されて、目的を果たしているデザインか(分かりやすく伝える、インパクトを与えてアピールする) 2) 構成力が優れているか(図、文字等の配置、構図を十分に検討する) 3) アイデアが斬新であるか(既存のものに類似せず、新鮮である) 4) 色彩感覚が優れているか(色彩論を応用し、明度、色相、彩度等を考えて計画する) ◇A2サイズ縦で制作(420mm×594mm) 画像解像度200Pixel/inch ◇キャッチコピーを考えて入れること。(コピーのセンスも重要)※写真に文字を入れただけの、ありきたりの作品にならないように注意。 ◇評価の観点 ①内容 1) 情報収集力：細部に至るまで正確に情報を収集できたか 関係資料の収集なども充実している 2) 分析力：取材した資料を分析し、的確に把握している 3) 伝達力：分かりやすく、簡潔な表現でまとめられている ②デザイン 1) レイアウトが読みやすく、美しい 2) 目的と内容に合ったデザインが成されている 3) 写真や見出しの配置、フォントの選定が適切である 4) 色彩計画が良い 5) 興味を引きつける工夫がある</p>	●	●	●	●	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
2	8	<p>■「デザインランプリ TOUHOKU」</p>  	<p>■コンクールポスター（21時間） 例年11月上旬に出品するデザインコンペ「デザインランプリTOHOKU」へ向けた作品制作。テーマは9月発表の要項に準ずる。 画材自由。サイズB3。 ■評価基準 テーマに対してアプローチが正しい判断であるか。効果や対比が的確であるか。丁寧な仕事運びが為されているかどうか。</p>	●	●	●	●	
3	1	<p>■専攻別課題 進級制作「CIデザイン」</p> <p>道徳</p>  	<p>■専攻別課題 進級制作「CIデザイン」（67時間） B2サイズ、縦、CG</p> <p>CI＝コーポレート アイデンティティー 会社の個性・目標の明確化と統一を図り、社内外にこれを印象づけるための組織的活動。デザインという視覚的要素の他にも、企業理念や企業行動などあらゆる面を含めた企業イメージの統一を図り、他社との明確な差別化をしていく企業活動。</p> <p>架空の企業、団体を想定し、そのCIコンセプトを基に、コーポレートカラー、ロゴデザイン、シンボルマークをデザインする。デザインしたロゴやマークを利用した商品、パッケージ、包装紙などに展開する例も提示させる。 （作例：食品会社、玩具会社、家具会社など）</p> <p>完成後にデザインのプレゼンテーションを行う。</p> <p>道徳教育を実施</p>					

【SDGsの各ターゲットについて】

ちょっとだけ詳しく内容を知りたい方は、アイコンをクリック



【道徳教育について】

高校の道徳教育についてちょっとだけ知りたい方はアイコンをクリック



※FSViに接続してる場合のみ

下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に
コピーしてご使用下さい

SDGsターゲットアイコン



道徳教育アイコン



下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に
コピーして下さい

SDGsターゲットアイコン



道徳教育アイコン